

今週のみこば

「あなたが大切なのです」

(マタイの福音書10章26節～31節)

「二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。ですから恐れてはいけません。あなたがたは多くの雀よりも価値があるのです。」(10:29～31)

仲森文穩

今日のメッセージ要旨

○今日の聖句は私にとって思い出深いもので、私を信仰へと導いてくれた聖句です。若い頃、私は様々な恐れを心にいだいていました。そんな私に、人はだれを恐れて生きるべきかを教えてくれた箇所です。私は17歳頃から太宰治の文学に魅惑され、特に「人間失格」の中の「恥の多い生涯を送ってきました」という言葉に共鳴していました。なぜなら当時、私は心に自己不信、人間不信の感情を抱えていたからです。危うい日々の中、私は友人に誘われてついふらふらと教会の門をくぐったのでした。ついふらふらというのは、そのときの自分の本心だったと思いますが、後で振り返ると、まさに神様が私に差し出してくださった救いの御手でした。私は小学生時代と中学生時代に起こった二つの出来事により、自己不信、人間不信に陥るようになりました。そして怖いのは、自分という人間と思うようになっていました。私は、その時まだ罪というものを理解していませんでしたが、潜在意識の中で罪多き自分を感じ、確かに救いを求めていたのです。

そんな時、今日の聖句と出会ったのです。「からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい」と書いてあったからです。

○でも、そんな偉大な神様なら、私のような者に見向きもされない筈です。でもその後の御言葉に、信じられないものを見た気がしました。そこには「二羽の雀は一アサリオンで売っている。そんな雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはない・・あなたがたは、たくさんの雀よりもすぐれた者です」とあったからです。2羽で250円、そんな安っぽい誰も気にとめない雀にさえも目をとめておられる。さらに1日に何百本となく生え変わる髪の毛の一本一本さえも、神様は数えてくださっている。誇張だとしても、私にはこの上もなく嬉しい言葉に思えたのです。「自分のような者は誰からも見向きされるはずがない」と思っていたら、「そうではない。あなたが大切なのです」と言われたように聞こえたのです。隠しようもないありのままの私のことをイエス様をご存知の上で、「あなたが大切なのです」と言ってくださった。それは、私を「自分はダメ人間だ」という思いから、解放してくれた言葉でした。それは教会に通い始めた19歳の時に、私に起こった救いのできごとでした。もし、教会に行っていなかったら今の私はなかったでしょう。人間不信だった私が、人を信じないとやっていけない牧師へと導かれたのですから、神様のなさることは不思議です。

私たち、時には自分はダメだと思ったり、人間不信に陥ったりすることもあると思います。でも、イエス様はどんな時でも「あなたが大切なのです」と語りかけておられます。体も魂も滅ぼせる神様がこのように私たちに寄り添ってくださる。何よりの感謝、喜びではないでしょうか。